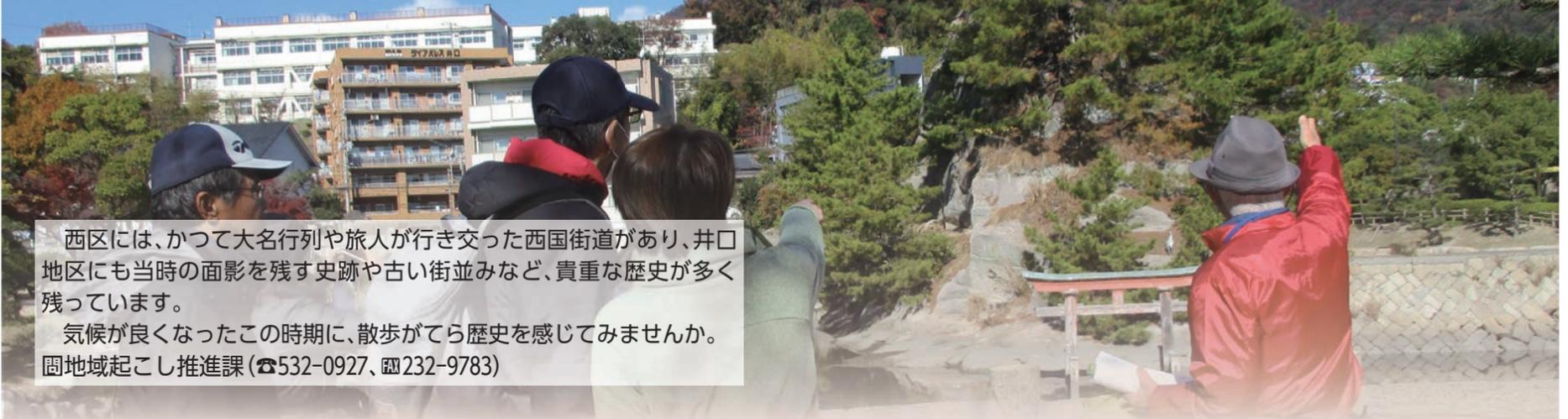




## 歩いてみよう 西国街道 井口歴史の散歩道



西区には、かつて大名行列や旅人が行き交った西国街道があり、井口地区にも当時の面影を残す史跡や古い街並みなど、貴重な歴史が多く残っています。

気候が良くなったこの時期に、散歩がてら歴史を感じてみませんか。  
関地域起こし推進課(☎532-0927、FAX 232-9783)

### 西国街道とは...

江戸時代、西日本の幹線道であった京都と下関を結ぶ山陽道のことです。五街道(東海道・中山道・日光道・奥州道・甲州道)に次ぐ重要な街道で、参勤交代や幕府代官、旅人などが往来する道として、多くの交易に利用されていました。人やモノ、情報が行き交うことで、地域ごとにその土地ならではの文化が生まれ育っています。

### がきくびじぞう 餓鬼の首地蔵(井口四丁目)

江戸時代、このあたり一面は海でした。ある時、船が暴風雨に遭って船頭が亡くなったため、家族が山に洞穴を掘り、お地蔵様を祀って、供養しました。その場所が「餓鬼の首」といわれたため、餓鬼の首地蔵と呼ばれ、海の安全を祈願するお地蔵様になりました。



### 小己斐明神(井口明神二丁目)

平清盛が厳島神社を建立した際、鈴ヶ峰から木を切り出して木印を押したことから「木印の明神」と呼ばれていました。さらに、子宝の神さまともいわれ、別名「子乞明神」とも呼ばれています。また、昭和25(1950)年以降、この辺りは井口漁港として使用され、今でも当時の雁木(階段に似た構造物)や防潮堤が残っています。



### 井口をより住みよいまちへ

私たちは「井口・鈴ヶ峰魅力づくり委員会」です。西国街道の魅力を次世代に伝えるために、20年程前に発足し、マップ作成(右下)やガイド、出前講座など幅広く活動しています。



左から 本西文雄さん(87歳)、楠勲二さん(94歳)

西国街道は、昔の井口の景色を思い出させてくれる思い入れのある道です。子どもたちが井口の歴史を知りながら育ち、自分の帰る場所と思えるように、この活動を続けています。また、活動を通して日常的な地域のつながりを大切にし、地域のみみんなの心安らぐふるさとが井口であるようにと願っています。

### おとしじんじゃ 大歳神社(井口二丁目)

大歳神社は、万寿元(1024)年創建と伝えられています。活癩明神ともいわれ、癩瘡(感染症の一つ)に対する守護神としてもあつく信仰されていました。境内には樹齢450年を超える大樹が残っています。また、秋の大祭の前夜には、境内で200年以上舞い継がれてきた伝統芸能「井口神楽」が奉納されています。



### さいごくかいどうあと 西国街道跡(井口二丁目)

江戸時代、平地が少なかった井口は、街道も山間部が多かったといえます。なかでも小己斐山(現在の龍神山)の峠は、難所として知られていました。現在、昔のまま残っている街道はほとんどありませんが、龍神山参道入口(右写真)から約100mは、唯一、ほぼ昔のままの姿で残っています。



### ご参加を 西国街道-井口歴史の散歩道-講座

西国街道沿いに残った街並みや文化・歴史を学び、地域の魅力を再発見

関18歳以上  
日11月16日(水)10:00~12:00  
場井口公民館

関西国街道沿いの史跡や、昭和20年前後の当時の暮らしの様子など、井口の歴史や文化を学ぶ(座学)

関11月2日(水)8:30から、直接か電話で。先着20人  
関井口公民館(☎、FAX 277-9258)



右の散策マップは区役所、井口公民館などに置いてあります。井口散策の際にはぜひ、ご活用ください(数に限りがあります)。

また、右のマップ以外にも各地域の魅力マップを地域起こし推進課で配布しています。区ホームページからも確認できます。

詳しくはこちら▶

